



令和元年7月9日  
陸幕広報室

令和元年度国内における米陸軍との実動訓練(オリエント・シールド19)の概要について

陸上自衛隊は、以下のとおり令和元年度国内における米陸軍との実動訓練(オリエント・シールド19)を実施いたします。

#### 1 目的

陸上自衛隊及び米陸軍の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における相互連携要領を実行動により演練し、共同対処能力の向上を図る。

この際、米陸軍部隊のRSOI(※)支援を実施するとともに、米陸軍MDTF(マルチ・ドメイン・タスク・フォース)と連携し、複数の領域にわたる日米共同のオペレーションについて演練する。

※ Reception(受け入れ)、Staging(駐留・作戦準備)、Onward-Movement(前方展開)、Integration(戦力統合)

#### 2 期間

令和元年8月26日(月)～9月23日(月)

#### 3 場所

健軍駐屯地、大矢野原演習場、高遊原分屯地、奄美駐屯地、瀬戸内分屯地、矢臼別演習場等

#### 4 担任官

##### (1) 陸上自衛隊

西部方面総監 陸将 <sup>もと まつ たか し</sup> 本松 敬史

##### (2) 米陸軍

在日米陸軍司令官 少将 <sup>グ</sup>ィエツト X.ルオン (Viet X. Luong)

#### 5 訓練実施部隊

##### (1) 陸上自衛隊

第4師団第16普通科連隊、第2高射特科団、西部方面特科隊 等

##### (2) 米陸軍

第33歩兵旅団戦闘団第2-106騎兵大隊、第17砲兵旅団 等

#### 6 特性

陸上自衛隊と米陸軍の相互運用性の向上に資する指揮機関訓練、共同射撃、共同対艦、共同対空戦闘等を演練し、共同対処能力を向上

(問い合わせ先)

陸上幕僚監部広報室 安達、三井(担当)

(TEL: 03-3268-3111 内線40084)